鹿沼CC・A堂々V2

8打差二枚看板けん引

「負けない気持ち」で圧勝

2位アローエース 3位にNSAJ

ゴルフ　県女子クラブ対抗

ゴルフの第2回県女子クラブ対抗競技大会（県ゴルフ場協議会、県ゴルフ場支配人会主催）は14日、矢板市のアローエースGCで行われ、鹿沼CC・Aが235ストロークで2位に8打差をつけて連覇を達成した。2位はアローエースGC、3位にニューセントアンドリュース・ジャパンGC（NSAJ）が続いた。

大会は「県ゴルフ振興基金」を活用して男子に続いて創設。1チーム4人編成の18ホールストロークプレー。Aクラス（1967年12月31日以前生まれ）、Bクラス（20歳以上）の各2人の計4人で、上位3人の合計スコアで競われた。

小雨が降り続くあいにくのコンディションの中、今回は18クラブ22チームの84選手が参加。Aクラス（5423ヤード、パー72）はアウトスタート、Bクラス（5897ヤード、パー72）はインスタートで熱戦を展開した。

鹿沼CC・Aは前評判通りの力を発揮。特にBクラスの〝二枚看板〟の鈴木郁子が3オーバー75でベスグロ、角田里子が6オーバー78と大車輪の活躍だった。

昨年の3位から2位に順位を上げたアローエースGCは地元の利を生かした。佐藤香織が79でBクラス3位、森田洋子がAクラス2位と踏ん張った。

3位のNSAJはエースの2009年の関東女子ミッドアマの女王で、知事盃一般女子の部で2回優勝を誇る小森幸恵がAクラスのベスグロ、久我喜枝美も同クラス5位と気を吐いた。

昨年2位の那須CCはエースの沓掛恵美子が81でAクラス6位に食い込んだが、5位に甘んじた。

▽団体　①鹿沼CC・A（高野裕子、水谷朱実、角田里子、鈴木郁子）235②アローエースGC（森田洋子、熊沢悦子、佐藤香織、古橋翠子）243③NSAJGC（久我喜枝美、小森幸恵、村山京子、藍葉里由利）245④芳賀CC（秋山ミイ、皆川三代子、宇梶敦子、小田倉富士子）248⑤那須CC（沓掛恵美子、白石幸子、関谷品子、渡辺逸未）251⑥東松苑GC①（八木珠恵、中麻里、米田康代、大崎由里香）255⑦あさひヶ丘CC（小林水幸、高田珠実、井上道子、近藤幸）260⑧鹿GC・B（村上美佳、篠原かおり、遠山聡子、飛高佐江子）260⑨宇都宮CC（猪野明子、佐藤光子、河合恭子、山中恵子）263⑩鹿沼CC・B（鼻井千代子、伊藤陽子、山田秀子、山本曹美）269＝同スコアは大会規定による

▽個人Aクラス　①小森幸恵（NSAJGC）76（38、38）②森田洋子（アローエースGC）80（39、41）③川三代子（芳賀CC）80（37、43）④秋山ミイ（同）81（41、40）▽Bクラス　①鈴木郁子（鹿沼CC・A）75（37、38）②角田里子（同）78（42、36）③佐藤香織（アローエースGC）79（37、42）④渡辺逸未（那須CC）83（43、40）⑤井上道子（あしひヶ丘CC）84（41、43）

「負けない気持ち」で圧勝

ハイライト

鹿沼CC・Aは前評判通り強かった。悪天候も影響してBクラスで70台はわずか3人。鈴木郁子が75、角田里子が78と二枚看板がチームを引っ張った。

関東女子シニア3連覇という全国区の角田。2016年の関東クラブ対抗で個人優勝を果たしている鈴木の実績。さらに、この2人は今年11回を迎えた県ダブルスで6回優勝の実績を誇るだけに連覇は当然との前評判だった。

しかし、「決して皆さんが思うほど（優勝は）楽ではなかった」と角田は打ち消した。角田は膝痛、高野裕子は風邪、水谷朱実は体調不良と「満身創痍の状態」と説明する。

「雨で士気が下がる中、皆が負けない気持ちで頑張った成果」と角田は解説。前半パーブレー36の角田に対して、2オーバー38の鈴木は「パーブレーと聞いてがぜん気合が入った」と鈴木の言葉が「負けない気持ち」を裏付けた。

昨年は2位に13打差をつけ、今回も8打差の圧勝だ。角田は「（今回は）底力があった。来年はもっと底力を付けて3連覇を」と優勝スピーチで力強く言い放つ。

かつてプロを目指した佐藤香織を軸にするアローエースGC、知事盃一般女子2回優勝の小森幸恵擁するNSAJも、女王奪還に向けて黙ってはいない。来年の激突が楽しみだ。（井上孝男）

連覇を達成し松本会長から優勝カップを受け取る鹿沼CC・A、中央がBクラスベスグロの鈴木＝アローエースGC

2位のアローエースGC

3位のNSAJGC。左がAクラスベスグロの小森

ホームの重圧跳ねず

○…地元での初優勝を狙ったアローエースGCだったが、鹿沼CC・Aに8打差を離されて2位。森田洋子主将は「ホームコースでプレッシャーがあった」と残念そうだ。

エースの佐藤香織が79で踏ん張るなど最後まで鹿沼CC・Aに肉薄したが、最後は鹿沼CC・Aの鈴木郁子に75を出され突き放された。

来年は優勝の声もかかる。「〝秘密兵器〟が入るんです。来年はひょっとするとです。あれ、これは秘密だった」と佐藤は慌てて発言を消しにまわっていた。

無事大会終了に安ど

○…前日の夜から一転して、雨、風、寒さとの戦いとなった今大会。大会運営に携わる競技役員も、カッパを着用してカートで巡回するなど大忙しの1日となった。

正午の気温は約10度で、アテスト会場をクラブ出入り口付近からレストラン横の部屋に〝移転〟する配慮も。

大谷勝彦競技委員長は「快晴の中で開催したいのはやまやまだが、無事終了できてよかった」と胸をなで下ろしていた。

NSAJ・小森幸恵（76でAクラスのベスグロ）「悪天候の中ではいいゴルフができた。失敗は6番パー4で木の下を狙って木に当たりダボを打ったこと。チームも昨年の4位から3位と上がったし、満足している」

「女性と若者確保を」

○…主催の県ゴルフ場協議会の松本典文会長は表彰式で「これからのゴルフ界を支えるのは女性と若者。多くの仲間に声をかけて大会に参加してほしい。そうなればゴルフ場利用者も増える」と訴えた。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」は「避けて通れない」と解説。「女性、若者を確保することは各ゴルフ場の願い」と説明した。

新型コロナウイルス感染拡大の中でも「密にならないスポーツ」としてプレーヤーが増えている状況という。「2019年と比較しても落ち込まず、逆に増えているゴルフ場もある。女性、若者が10～20％増のクラブもあるので、この気運を大切にしたい」と力説した。

県高体連　新会長に吉成

吉成卓氏

県高体連は14日、本年度の新役員を発表し、新会長に黒磯南高校長の吉成卓氏が就任した。

これまで会長を務めた丸茂博氏（大田原女高校長）は副会長に就いた。副会長は計6人が新任。

同日、加盟82校の校長らで組織する評議員会を開いて決定。役員人事のほか、本年度の事業計画や予算案などを承認した。

役員は次の通り。（○は新任）

▽会長　○吉成卓（黒磯南高校長）▽副会長　船田元（作新学院長）○大川直邦（栃木高校長）○藤崎武司（小山南高校長）○荒井博文（真岡高校長）吉川孝昭（日光明峰高校長）○高橋貴子（壬

欧州チャンピオンズリーグ　決勝5/28

CHAMPIONS LEAGUE

4/26 5/4　①1-3 ②3-2　①1-0 ②0-0

4/27 5/3　①1-0 ②1-1　①1-3 ②3-3

チェ　レア　マン　アト　ビリ　バイ　ベン　リバ